

今日お話を聞いて非常に心を打たれた。教育とは良い環境を与えることである、基本的には全く同じものであることが徐々にわかって来た。教育全般に対する考えは一致している。鈴木先生の意見に敬服している。

司会者 山下氏

今後にも大きな問題になる点を感じる。質問に対してはまだ納得のいかぬ点もあると思う。

実際保育にあたってはいる者の間違ったやり方から生ずる問題の原因について、もう少し考えなければならぬものが残されているように思う。

× × ×
× × ×
× × ×

日本保育学会第九回大会記事

日本保育学会第九回大会は、昭和三十一年五月二十六日(土)の午後から二十七日

(日)にわたり、高原の湖風光る長野県諏

訪市の長野県立諏訪二葉高等学校講堂を会

場として開催された。今回は長野県立保育

専門学院が開催校となり、根岸草苗氏が準

備委員長となって万端が整えられた。

参加人員はおよそ千名、北は北海道、南

は九州の果てから馳せ参じた会員で、堂に

あふれる盛会であった。

プログラム

第一日

開会の挨拶

山下会長

研究発表(午後一時四十五分—五時半)

十三(二・四・七は欠席)

第二日

研究発表(午前八時半—正午)

十四(七は欠席)

(第一日および第二日の題目および氏名は本誌目次参照)

総会(正午)

議長 山下会長

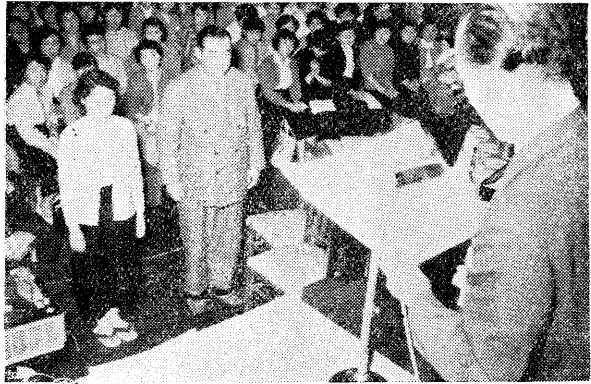
昭和三十年度事業報告(竹田常任委員

報告)および会計決算報告(村山常任

委員報告)が承認され、倉橋賞授与規

定が発表された。また昭和三十一年度

事業計画(竹田常任委員説明)および



倉橋賞授与式の光景

予算（村山常任委員説明）が協議され、第十回大会は東京（開催校未定）で開かれることとなった。
倉橋賞授与式（午後一時半）

今回発表の研究中より選考委員会の審議の結果、左の二篇が最初の栄ある授賞対象となり、満場拍手のうちに授与式が行

われた。

「幼児の生活発表」

神田寺幼稚園教諭

栗田成子氏

「小児期に於ける体質究明の一方策」

長野県保育専門学院講師

竹村計美氏

シンポジウム（午後二時—四時）

「幼児の創造性をどのようにして培うか」

（要旨は本誌参照）

閉会の辞 小川副会長

なお第一日の夕、委員会が開かれ、昭和三十一年度の計画その他について協議が行われた。

この度の大会を開催するにあたって、開催校の職員、学生の方々、地元保育界の諸氏、また諏訪市長、二葉商校長、その他関係各位の一方ならぬ御協力を得たことに對しここに厚く謝意を表する。

幼児の教育 第五十五卷第九号

定価金五十円

昭和三十一年八月二十五日印刷

昭和三十一年九月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真

発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願ひ致します。